

みんなの広場

11月号読者アンケート“Voice Box”から

ワンポイント事例を読んで

私は現在入社して5年目になります。入社当初はQCサークルについてまったくわかっていませんでしたが、徐々にわかっていき、テーマリーダーなども任されるようになってきました。そこで、会議の進め方についてもっとうまく進められないかと迷っていました。「現状把握で何を知らうとするのかその進め方を決めてから把握する」と読んで、今まであたふたしながら会議を行っていましたが、今後はまず何をしていくのかきちんと確認をしてから活動を進めていけたらと強く感じました。まだまだ学ばなくてはいけないことが多いので、様々な事例が載っている『QCサークル』誌を読むことを楽しみにしています。

(茨城県 西脇隆之介さん)

シリーズを読んで

タコツボ状態で仕事の会話がない、そして達人と呼ばれる人が定年間近という職場は珍しくなく、人ごとではない。そのタコツボの壁が失せ、視界がおおらかになることはそう簡単なことでないことは想像できるが、記事を読んで少しヒントをもらった気がします。個人の能力に頼っていた方式を課全体でチェックする仕組みに変えるという大きな試みをし、みんなの総力で乗り切ろうと考え、それを実現したのは心からすごいと思いました。また、気軽に話し合える30分以内のパッドミーティングをはじめ、一人で悩み考え込むより、みんなに相談して前に進ませようと意識が大きくなったことはうらやましさも感じました。

(大阪府 中山裕史さん)

品質月間

11月は品質月間。企業で行っている考え方を家庭でも実践してみる。一見難しそうに見えるけれど、基本は家庭経営と同じ。品質意識の向上でますます家庭も幸せになる。そんな期待を胸にして毎日を過ごしている今日この頃です。

(兵庫県 黒崎彰一郎さん)

現場勤務ではなく事務所で内勤のため、工場内がどうなのかなど把握が難しいですが、毎月『QCサークル』誌を読み勉強しています。実際に現場で働いている人に比べたら無知に近いかもしれませんが、現場の方と話すきっかけなどにもなっています！

(群馬県 匿名希望さん)